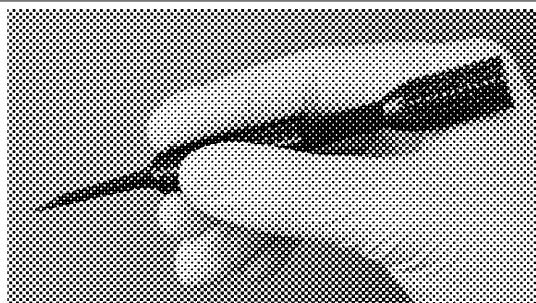


微細縫合針を安定把持

顕微鏡使用
手術向け 河野製作所が開発

【千葉】河野製作所（千葉県市川市、河野淳一社長）は、髪の毛よりも細い世界最小の手術用縫合針をつかめる専用医療機器「Neo 〇 持針器Ⅱ写真」を開発した。顕微鏡をのぞきながら0.5ミリの前後の血管やリンパ管などを縫合する手術の品を開発した。長さ0

・8ミリの直径0.03ミリの縫合針に対し、今回の持針器の縫合針をつかむ部分は幅0.2ミリの細く設計されていることから、針をしっかり把持して組織を縫える。高倍率の顕微鏡を用いる手術では、少しの動作でも顕微鏡の視野



外に持針器の先が飛び出て、再度視野に戻す必要があった。今回のシャリ（超微小外科）での使用も期待されるとしている。

持針器は中心軸上に先端があり、持針器を回転させても先端で把持した針が中心から大きく動かない設計を採用した。

これまでは世界最小である直径0.03ミリの縫合針はセツシ（ピンセット）で把持していた。今後、スーパーマイクロサ